

公開シンポジウム

裁判員制度の10年

—市民参加の意義と展望—

裁判員制度が始まって10年。この間、約9万人の市民が裁判員として刑事裁判に参加してきました。市民参加で刑事裁判はどのように変わったのか、裁判員となった市民は何を感じ、考えたのか。このシンポジウムでは、裁判員制度の10年を振り返り、司法への市民参加の意義と今後の展望を考えます。

2019年 **5月19日** (日)
13:00～17:00 (12:45開場)

青山学院大学 (青山キャンパス)
17号館511教室
資料代：500円
※事前申し込みは不要です。

■第1部「市民参加の意義—裁判員制度10年で見えてきたこと」

〈基調スピーチ〉 濱田邦夫 (弁護士・元最高裁判所判事)

〈第1部パネリスト〉

稗田雅洋 (早稲田大学大学院法務研究科教授・元東京地方裁判所部総括判事)

森岡かおり (弁護士・第一東京弁護士会) 滝口亜希 (産経新聞社会部記者) 裁判員経験者5名

〈コーディネーター〉 牧野茂 (弁護士・第二東京弁護士会)

■第2部「市民参加の展望—裁判員制度の課題と提言」

(1) 共同提言 —守秘義務の見直し

(2) 課題と展望—次の10年にむけて

①裁判員制度の徹底検証～誤判防止の役割へ ②裁判員制度を支える社会の仕組み

〈第2部パネリスト〉

青木孝之 (一橋大学法科大学院教授・元裁判官) 周防正行 (映画監督)

指宿信 (成城大学法学部教授) 飯考行 (専修大学法学部教授) 大城聡 (弁護士)

【主催】 裁判員経験者ネットワーク 一般社団法人裁判員ネット

【共催】 裁判員ラウンジ 陪審裁判を考える会 市民の裁判員制度めざす会
裁判員交流会インカフェ九州

【協力】 LJCC 裁判員ACT(アクト) 裁判への市民参加を進める会 (社会福祉法人大坂ボランティア協会)

(お問い合わせ先)

裁判員経験者ネットワーク (共同代表世話人 弁護士牧野茂)

E-mail: makino@fair-law.jp FAX: 03-3500-5331 (フェアネス法律事務所)

一般社団法人裁判員ネット (代表理事 弁護士大城聡)

E-mail: info@saibanin.net FAX: 03-3255-8876 (東京千代田法律事務所)